



札幌文化芸術交流センター

SCARTS

オープニングシリーズ主催事業

Lecture Series vol.1

SCARTSレクチャーシリーズ vol.1

開館記念シンポジウム

文化が つづく、 地域の アイデン ティティ

2018年11月11日(日) 14:00~18:00

SCARTSコート(札幌市民交流プラザ1階)

参加費 無料 (情報交換会はワンドリンク500円)

▶ 基調講演 (14:00~15:00)

▶ パネルディスカッション・質疑応答 (15:15~16:45)

▶ 情報交換会 (17:00~18:00)

▶ 参加申込み

受付期間 10月1日(月)~10月20日(土)

定員 100名(応募多数の場合は抽選となります。)

※抽選結果は、10月26日(金)までにご連絡いたします。

①公式Webサイトの応募フォームにてお申し込みください。

https://www.sapporo-community-plaza.jp/form_181111.php

②往復はがきに以下の内容を明記の上、下記宛先までお送りください。

- お名前(フリガナ) ●ご連絡先(ご住所・電話番号)
- 参加人数(2名まで) ●情報交換会への参加について(希望する・希望しない)
- 返信用宛先(返信の宛名面にご記入ください。)

[宛先] 〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階
札幌文化芸術交流センター SCARTS レクチャーシリーズ担当

▶ 基調講演 / コメンテーター

青柳正規氏

前文化庁長官 / 山梨県立美術館館長

▶ パネリスト

柴田 尚氏

特定非営利活動法人S-AIR代表
北海道教育大学岩見沢校教授

漢 幸雄氏

あさひサンライズホール館長

吉里演子氏

東川町文化ギャラリー学芸員 / 東川町写真の町課職員

▶ モデレーター

吉崎元章

札幌文化芸術交流センター SCARTS プログラムディレクター

その土地固有の歴史や資源に基づいて人々が紡ぎ出してきた文化は、いろとりどりの地域の個性を育み、そこに暮らす人に誇りを与えてくれます。

SCARTSレクチャーシリーズ vol.1では、「文化がつくる、地域のアイデンティティ」をテーマに、札幌文化芸術交流センター SCARTSの開館記念シンポジウムを開催します。

国内外の文化政策をふまえた基調講演と、道内各地で取り組まれている創造性豊かな文化芸術活動の事例紹介・パネルディスカッションを通して、地域のアイデンティティを形成する文化の可能性について改めて考えてみませんか。

シンポジウム終了後は、登壇者や参加者同士の交流を図る情報交換会も開催します。

SCARTS Lecture Series Vol.1

[SCARTSレクチャーシリーズ 今後の予定]

- 第2回 平成31年1月10日(木) テーマ：文化事業の運営
村山和佳子氏(公益財団法人北海道文化財団チーフマネージャー)
- 第3回 平成31年2月21日(木) テーマ：広報
長野隆人氏(いわき芸術文化交流館アリオス広報グループチーフ)
- 第4回 平成31年3月20日(水) テーマ：ファンドレイジング
金谷重朗氏(NPO法人東京フィルメックス実行委員会/早稲田大学文学部非常勤講師)



2018年10月7日、北1条西1丁目目オープンする札幌市民交流プラザは、北海道初の多面舞台を備え、オペラ、バレエ、ミュージカル等にも対応する客席数2,302席の「札幌文化芸術劇場 hitaru(ヒタル)」、「ひと・もの・こと」をつなぎ、札幌の文化芸術を支え育む「札幌文化芸術交流センター SCARTS(スカーツ)」、仕事やくらしに役立つ情報や札幌・北海道の魅力に関する情報を提供する「札幌市図書・情報館」の3施設からなる複合文化施設です。

◎お問い合わせ
札幌文化芸術交流センター SCARTS
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目
札幌市民交流プラザ2階
TEL 011-271-1955 (9:00~17:00)

札幌市民交流プラザ

SNSにて最新情報更新中!



札幌市営地下鉄東西線、南北線、東豊線「大通駅」31番出口から徒歩約2分
※さっぽろ地下街オーロラタウンから西2丁目地下歩道直結予定

青柳 正規

前文化庁長官
山梨県立美術館館長



1944年生まれ。東京大学文学部美術史学科卒業後、ローマ大学に留学、古代ローマ美術史・考古学を学ぶ。40年にわたってポンペイ、アグリジェント近郊、タルクィニア近郊等での発掘調査に携わり、日本におけるポンペイ研究の第一人者。
東京大学文学部教授、国立西洋美術館館長、文化庁長官を務め、現在は東京大学名誉教授、山梨県立美術館館長。著書に、『エウローパの舟の家』『皇帝たちの都ローマ』『ポンペイの遺産』『文化立国論』など多数。

柴田 尚

NPO法人S-AIR代表
北海道教育大学岩見沢校教授

1962年生まれ。現在までの18年間に36カ国96名以上のアーティストや企画者等の滞在製作に関わるほか、大学では岩見沢を舞台とした「空知道覧」を2016年よりスタート。2016年、北海道文化奨励賞受賞。
共著に「廃校を活用した芸術文化施設による地域文化振興の基本調査」(共同文化社)等がある。



漢 幸雄

あさひサンライズホール館長

1960年生まれ。旭川工業高校を卒業後、朝日町(現士別市)役場に就職。1993年ホール開設に伴い教育委員会へ出向、現職。市民参加型演劇事業や小中学校へのアウトリーチ事業等を積極的に行う。シアターネットかんげき代表、公益財団法人全国公立文化施設協会コーディネーター、地域創造アトリエネットワーク副代表も務める。共著に「街に出る劇場」(2018年)がある。



吉里 演子

東川町文化ギャラリー学芸員
東川町写真の町課職員

1987年生まれ。大阪市出身。高校時代に「写真甲子園」本戦出場を果たし、東川町を初訪問し、東川町に魅了される。大阪芸術大学写真学科時代には「写真甲子園」ボランティアスタッフや、大学の卒業制作で大阪と東川町を行ったり来たりする中、「写真の町課」の臨時職員となり、東川町へ移住。その後、正職員となり現在に至る。「東川町ものがたり」編集実務を担当。



吉崎 元章

札幌文化芸術交流センター SCARTS
プログラムディレクター

1962年生まれ。札幌芸術の森に1986年のオープン時より勤務し、1990年開館の札幌芸術の森美術館に準備期から学芸員として関わり、ウィーグラン展などの彫刻の展覧会や、「中根邸の画家たち」「さっぽろ・昭和30年代」などの札幌の美術を扱った展覧会を多く手がける。一般財団法人地域創造参事を経て、2018年4月より現職。

